

# くじらがいは 4月号

しづはた営農経済センターだより

静岡市葵区下 1459-1 ☎294-9330

センター長	茶	茶・有害鳥獣	野菜・水稲・苺	果樹	女性部	購買
高橋	佐藤	平野	稲葉	伊藤	漆畑	橋本・中村・正込
配送	加藤・長谷川		大河内地区担当	大石	梅ヶ島地区担当	望月

## 《茶》1番茶生産開始 平年並～やや早めのスタート

昨年は3、4月の寒さで生育遅れが見られましたが、今年は寒い日もあるものの平年よりも気温が高い日が続く、生育は、「平年並み」か「やや早い」傾向が見られます。

今年は新型コロナウイルスの影響で今まで以上に厳しい茶業情勢となっておりますが、まずは自分達がコロナに罹らないように細心の注意を払い一番茶に臨みましょう。

摘採…自分の摘採計画よりも2日～3日早い摘採を心掛けましょう

- ポイント① 圃場巡回をし、茶園の生育を確認して摘採計画をしっかりと練る。
- ポイント② 手摘みの際に傷葉、古葉や赤棒等が混入しないよう注意！丁寧な摘採を。
- ポイント③ やぶきたは適期浅刈をし、品種は必ずミル芽摘採に努める。
- ポイント④ 1番茶芽の生育スピードは早いので、刈り遅れにならないように！！

※ 茶商の需要に合わせた摘採・製造に努めましょう。

## ◆ 防除 農薬散布後は生産履歴の記帳に努めましょう！！

【1茶前】⇒摘採までの日数を注意する。ダニの発生が多発する圃場には  
ミルベノック乳剤(7日)1,000倍 又は 劇コテツフロアブル(7日)2,000倍

【1茶摘採後】

- ◎ アカダニ・サビダニ → 劇アグリメック(7日)1,000倍 単用
- ◎ トゾム・ウカ・スリップス →

【クワシロカイガラムシ】散布時期の判断がつかない場合は営農センターまで相談

- ・時期 …5月下旬～6月上旬 散布量 → 10a当たり 1,000粒
- ・薬剤 … 劇スプラサイド乳剤 1,500倍 14日  
又はアプロードエースフロアブル 1,000倍 14日

【2茶萌芽期】

- 炭そ病・もち病 オンリーワンフロアブル 2,000倍
- ウンカ・スリップス ウララDF 1,500倍 混用 7日

※ 別途、ツマグロアオカスミカメの発生が予想される茶園について

- スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 7日

## ◆ 施肥 灌水施設がある茶園では、しっかり灌水しましょう！！肥料の効果UP

- ・1茶芽出肥2回目 摘採20日前 化成又は硫安 3袋/10a
- ・2茶肥が1回の場合 → 2茶摘採30日前に施用する 化成 4袋/10a (1茶摘採15日後)

## ◆ 整枝

- ・時期 → 摘採後、7～10日遅れ芽が出し切った頃 (ミル芽摘採した茶園は約14日)
- ・深さ → 1茶摘採面、遅れ芽を除く程度に浅く摘採面を整える。

## 荒茶共販出荷者の方へ

茶園管理作業等でお忙しい時期ですが、施肥・防除管理終了後、ただちに作業記録用紙に記帳し、最寄りの農協までご提出をご協力をお願いします。

提出期限 最終防除終了後早めにご提出をお願いします。

※ 製造記録用紙は荒茶出荷時に提出をお願いします。

提出先 しづはた支店・大河内事務所・梅ヶ島事務所

※ 共同工場は各組織ごとに栽培日誌の取りまとめをお願いします。

※農協共販では荒茶出荷時前までに生産履歴の提出が必要となりますので、必ず提出にご協力下さい。未提出の方については荷受けができません。

## ◎静岡市の茶・補助事業紹介(抜粋)◎

### ①茶加工施設機械整備事業

補助対象 荒茶加工施設等で使用する機械の導入 補助率 5割(上限150万円)

### ②茶園改良整備事業

補助対象 茶園平坦化、園内道整備、防霜ファン整備 補助率 2～5割(上限30～48万/反)

### ③茶園共同管理推進事業(5戸以上の団体のみ)

補助対象 乗用型摘採機や小型バックホウ、被覆資材導入 補助率 5割(上限500万/団体)

### ④防霜ファン修繕事業

補助対象 設置後12年を経過した防霜ファンの修繕 補助率 2割(上限10万/台)

各補助事業に要綱があり、補助対象とならない場合がありますので、まずは農協へご相談ください。

## ◎野生鳥獣被害防除事業補助金申請について(静岡市補助事業)◎

野生鳥獣の農業被害を防ぐための設備(電気柵や獣害用ネット等)の購入に対して下記のとおり助成します。

補助率 旧安倍6ヶ村の場合 9割(上限10万)、旧安倍6ヶ村以外の場合 5割(上限10万)

受付開始日 4月20(月)～予算満額まで 受付先 静岡市中山間地振興課(054-294-8807)

- ① 補助事業を利用したい組合員は最初に『市役所 中山間地振興課』へ直接電話をお願いします。
- ② 市から申請した組合員宛てに郵送または手渡しで申請書類が渡されます。
- ③ 申請書が届いたら防護設備の見積りを依頼、農協経由で市に申請書を提出
- ④ 『個人』への助成はH27年度～R1年度に申請し、助成を受けている方は対象になりません。

※「団体申請」のメニュー(補助率9割)もあります。詳細は、農協または中山間地振興課へ相談ください。

## 《いちご》 【育苗の推奨スケジュール】

栽培指針では12月頭に収穫する場合、9月中旬には定植、4月上旬には親株定植が終わっている予定。

◎ 低温暗黒育苗指針（9月中旬定植を目指す） 室温12℃程度

親株定植 → ポット受け → 切り離し → ※低温暗黒処理 → 順化 → 定植  
3月～4月 - 6月上～7月上 - 7月下 - 9月1日～14日 - 2日間 - 9月中旬

※きらび香はランナーの出が特に悪いので、早めに親株を定植する。

☆親株の肥料管理：緩効性の肥料を施す

（IBS1：6～8粒程度/株20日毎、または宇部ポット特号大粒3個/株30日毎、  
又は宇部ポット特号小粒8個/株30日毎）

省力：4月：エコロング413-140日 10g/株 6月：IBS1 4g/株

☆親株の灌水：頭上灌水は止め、株元に灌水できるよう点滴灌水に切り替える。

5月中下旬からランナーを残し6月上旬からのポット受けを目指す。

◎ 紙ポット育苗の注意点 <定植の手間は掛かりますが育苗期が高温の年に効果を発揮します。>

- ①育苗日数が無い場合ランナー先端苗では効果が出ない場合があるので育苗日数を十分確保する。
- ②夏季時のハウス内は気温が高すぎて効果が発揮しにくい場合があるので換気を良くし、場合によっては遮光資材を併用する。

紙ポットの側4面から水分が蒸散できるように配置する。

◎特に花芽誘導期の8月15日以降は紙ポットを乾燥させないように注意する。

ポット受け時期は6月中～7月中に行うようにする。

【親株防除体系】 親株定植時より栽培履歴に記帳をお願いします。

散布時期	農薬名	RAC	濃度	回数	対象病害
4月下旬	ジマンダイセン（水）	M3	600倍	1/6	炭疽病、じゃのめ病
5月上旬	ベルコート（水）	M7	1,000倍	1/5	炭疽病、うどんこ病
中旬	キノンドー（フ）	M1	500倍	1/3	炭疽病
下旬	ファンタジスタ（顆粒）	11	2,000倍	1/3	炭疽病、灰かび
6月上旬	劇テラン（フ）	M9	1,000倍	1/2	炭疽病
中旬	オーソサイド80（水）	M4	800倍	1/3	炭疽病、灰かび、芽枯れ
下旬	アントラコール（顆粒）	M3	500倍	1/6	炭疽病

害虫発生時適時：殺菌剤と混用可能な剤を散布

ハダニ・チャノホコリダニ：コロマイト水和剤 2,000倍

アザミウマ類：スピノエース顆粒水和剤 5,000倍（ハチ3日）、マツチ乳剤 2,000倍

※劇アグリメック（ハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類）1,000倍 2回以内

※親株育成期2回（切り離しまで）、育苗期2回（本圃定植まで）、生育期は不可（定植後）

親株で2回使用しても、切り離し後から定植までの間にもう2回使える。（しかし多用は控える）

☆定植時、特にチャノホコリダニ等を本圃に持ち込まないようダニ剤も散布しておく必要有り

<病気に打ち勝つ育苗資材の提案> 親株葉面散布 10日間隔で2回程度

親株定植直後  
三種混合 { トップハーベスト（酵母、乳酸、納豆菌） 500倍 病原菌抑制  
          ケイ太君（海藻由来の珪酸を主としたミネラルを含んだ資材） 5,000倍  
          福磨（ニームオイル、大豆レスチン） 1,000倍 カルシウム補給 展着促進

## 《水 稲》 種子消毒

塩水選：10a当り 種籾4kgを用意する。

うるち米 比重1.10（塩1.6kg または 硫安2.0kg/水10L当り）

もち米 比重1.06（塩0.9kg または 硫安1.1kg/水10L当り）

☆病害予防の為、必ず実施をお願いします。ここで病気の籾を除去します。

水洗い 沈んだ種籾を水洗いして用いる。（発芽不良にならないように丁寧に洗浄）

水を切り目の粗い網袋などに詰める。但し、網袋詰めは7分目程度とし余裕をもたせ、薬液が種籾一粒一粒に浸漬しやすいようにする。

薬液浸漬（ばか苗病、もみ枯細菌病及び心枯線虫を同時防除する）

対象病害中	薬剤名	RAC	施用量	施用方法
ばか苗病	テクリードCフロアブル	3	100ml/水20l (200倍)	混用
籾枯細菌病		M1		
心枯線虫 (ほたるいもち)	スミチオン乳剤	1B	20ml/水20l (1,000倍)	

※袋に余裕のあるように籾を入れ浸漬はじめ、薬液中で袋をよくゆする。

※24時間浸漬する。

水中浸漬 薬液中から取り出した種籾は水洗いせず、そのまま種籾の倍量の清水に

3～4日静置浸漬する。涼しい場所で浸漬し、この間攪拌はしない。

《野菜苗定植用粒剤》 ※使用の際は登録の有無を必ず確認の上ご使用ください。

対象害虫	薬剤	RAC	施用量	施用方法
アブラムシ	アドマイヤー1粒剤	4A	1～2g/株	植穴土壌混和
スリップス				
コナジラミ	ベストガード粒剤	4A		

《さやえんどう》（キヌサヤ・スナック）

対象害虫	薬剤	RAC	倍率	施用方法
うどんこ病	トリフミン水和剤	3	5,000倍	収穫前日まで 5回
ナモグリバエ	劇パダンSG水溶剤	14	1,500倍	収穫前日まで 3回

《たまねぎ》

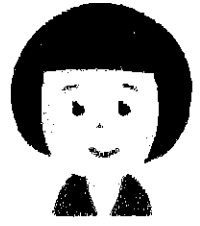
対象害虫	薬剤	RAC	施用量	施用方法
白色疫病 べと病	リドミルゴールドMZ	4 M3	1,000倍	収穫7日前まで 3回
	ランマンフロアブル	21	2,000倍	収穫7日前まで 4回

《アスパラガス》

今年は暖冬の影響を受け萌芽が早く、立茎が行われている状況です。

昨年の休眠がうまくできなかったため一部萌芽が遅れる部分がありますが、2～3週間ほどで圃場の7～8割が立茎完了できるよう管理する。株の状態にもよりますが、萌芽が早まったため例年より全体の管理作業が1ステップ早くなることを想定し作業を行ってください。

# JA静岡市女性部しづはたブロック 女性部コーナー4月



花の便りもあちこちで聞かれる時候になってまいりました。

コロナ感染防止対策のため異例の開催となりましたしづはた支部総会も、梅ヶ島総会も無事に終了し令和2年度がスタートしました。

今年度も引き続き、女性部は漆畑が担当させていただきます。よろしく申し上げます。

## 行事予定

- 4月15日 開催予定のJA静岡市女性部通常総代会も中止、書面決議となりました。
- 5月27日(水) しづはたブロック女性部役員会 19:00~しづはた支店

## 令和2年度 検診年間予定表

特定健康診査	
6月25日(木)	昭府町支店
11月10日(火)	しづはた支店
11月11日(水)	しづはた支店(大河内管内)
1月7日(木)	しづはた支店

※ 日程は変更になる  
こともあります。

婦人科検診	
5月14(木)	しづはた管内
8月12日(水)	//
9月24日(木)	//
11月26日(木)	大河内地区
2月24日(水)	梅ヶ島地区

## ゴキブリ団子の作り方☆

### 【材料】

ホウ酸 500g、玉ねぎ 300g、  
小麦粉 140g、砂糖 大さじ2  
牛乳 大さじ1

- ① 団子50個分ミキサーに粗く刻んだ玉ねぎと牛乳を入れてどろどろになるまでかける。
- ② ボールに①とそのほかの材料全て入れて混ぜ合わせる。(固さは小麦粉で調整する。)
- ③ 3cmほどの平べったい団子状にしてよく乾燥させる。

ガサガサガサ...



「この秋冬に楽  
しむ野菜と花  
の種プレゼント」  
各種苗会社の協  
力により、家庭菜  
園での栽培や農産  
物直売所への出荷  
にも向く話題の野  
菜と秋冬の庭先を  
華やかに彩る花の  
種各一五〇人に  
プレゼント

『創刊九十五周  
年記念特集』  
みなのご当地ワ  
ザ大集合!』  
北海道から南は沖  
縄県まで全部で  
十六のご当地ワザ  
を紹介

特集

読みの家  
の光  
5月号  
の  
読みどころ

## 《柑橘》

### ●温州ミカン

防除時期	対象病虫害	農薬名	希釈倍数	使用基準
3分咲き期	アザミウマ類	マツチ乳剤	2,000倍	14日-3回
	訪花昆虫	または スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回
	灰色カビ病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	7日-3回
落弁期	アザミウマ類・ホコリダニ	劇アグリメック	2,000倍	7日-3回
	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回

※花と芽の競合を避ける為、3分咲き防除時に尿素500倍とリンクエース1,000倍を混用散布。落弁期防除時に尿素500倍と結晶粒マグ500倍を混用散布することにより、新葉緑化と着果安定が高まる。

※他作物と隣接している圃場並び昨年、そうか病が発生した圃場は、スイッチ顆粒水和剤に変えフロンサイドSC2,000倍 14日-3回 を使用する。

### ●中晩柑

防除時期	対象病虫害	農薬名	希釈倍数	使用基準
3分咲き期	アザミウマ類	マツチ乳剤	2,000倍	14日-3回
	訪花昆虫	または スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回
	灰色カビ病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	7日-3回
5月中下旬	アザミウマ類	劇アグリメック	2,000倍	7日-3回
	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回

## 《落葉果樹》

対象作物 防除時期	対象病虫害	農薬名	希釈倍数	使用基準
ハススいちじく 5月上旬	疫病	レーバスフロアブル	2,000倍	前日-3回
5月下旬	カンザワハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍	前日-1回
いちじく 5月上旬	疫病	Zポルドー 加用 クレフノン	1,000倍 200倍	—
柿 5月中下旬	チャノキイロアザミウマ 落葉・灰色カビ・うどんこ病	劇コテツフロアブル	2,000倍	14日-2回
		ストロビーDF	3,000倍	14日-3回
梅 5月上中旬	カメムシ類 黒星病	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回
		ストロビーDF	3,000倍	7日-3回
ぶどう 開花期	ハダニ類 灰色カビ・黒とう・うどんこ病	カネマイトフロアブル	1,000倍	14日-1回
		ストロビーDF	3,000倍	14日-3回

※気温が高く、例年より生育状況が早いことが予想されます。生育状況を確認し、防除適期を逃さないようにして下さい。

※梅のヤニ果・そぶ果（ホウ素欠乏）の発生する園では、防除時にヨーヒB5 1,000倍の混用散布をお勧めします。また、フィールドアップ（土壌改良剤）4袋/10aも効果があります。